

パソコン利用のための基礎知識(その3)

「パソコン利用のための基礎知識(その2)」ではファイルについて解説しましたが、今回はフォルダについて説明します。

フォルダ

フォルダとは、パソコンにおいてディスク内の情報を整理するための「入れ物」のことを言います。ワークステーション(UNIX)の世界では、ディレクトリと呼ばれます。

日常生活において、様々なものが、封筒、レターケース、引き出し、段ボール箱といった「入れ物」によって整理されているように、パソコンの中でも、「フォルダ」と呼ばれる入れ物によって整理をします。整理をする時には、「より近い関係」のあるものどうしを同じ箱の中に入れることが多いわけですが、パソコンのフォルダでも事情は同じです。

また、日常生活における整理において、細かく整理した「入れ物」をさらに別の大きな「入れ物」に入れる、といった二重(あるいは多重)構造をとることがありますが、フォルダにおいても事情は同じです。

デスクトップ

「デスクトップ」は机の上という意味ですが、パソコンでの作業はすべて「机の上での作業」に例えて考えられています。パソコンで利用するプログラムや文書も常に机の上に整理整頓しておくというわけです。

デスクトップには「マイコンピュータ」という名前のフォルダがあります。パソコンにファイルという形で保存されている情報は、すべてここからたどって探すことができます。つまり、自分のパソコンの中のデータがすべて入っている最も大きな箱が「マイコンピュータ」なのです。

なお、2002年度からの新システムでは、デスクトップに保存したファイルは、ログオフすると削除されてしまうので注意が必要です。

- フォルダを開く
フォルダを開くには「ダブルクリック」あるいは右ボタンクリックでメニューを出して「開く」を選択します。

マイコンピュータの中には、次のようなフォルダがあります。

- A - フロッピーディスクに対応するフォルダ
個人的なデータを保存し持ち歩きたいときに利用します。
- C - 内蔵ハードディスクに対応するフォルダ
パソコンで WindowsNT やワードのようなソフトが利用できるようにするためのファイル(プログラムファイルやデータファイルなど)が保存されています。メディアセンターのパソコンの場合、原則として個人的なデータを保存するためには使いません。
- D - CD-ROM に対応するフォルダ
CD-ROM の内容を見るときは、ここからたどります。
- M - 個人フォルダ
個人的なファイルを整理して保存します。このフォルダ内に保存したものは、他の人からは見えません。また、端末を移動しても、自分の利用者コードを用いる限り、常に同じものが見えるようになっています。

(Mの内容は、ファイルは学術情報メディアセンターの計算機室内の「サーバ」に保管され、ネットワークを通じて参照することができるようになっているのです。)

ただし、同時に複数の端末を同じ利用者コードで利用したり、ネットワークに障害が発生してうまくデータが転送できない場合は、内容が保証されない場合があります。

なお、このA、C、D、Mといった名前のフォルダは、機械的(物理的)な入れ物の単位である「ドライブ」に対応しています。

- Aドライブ - フロッピーディスク装置 (1.4MBytes, 1.2MBytes, 0.7MBytes)
- Cドライブ - 内蔵ハードディスク装置
- Dドライブ - CD-ROM 装置
- Mドライブ - プライベートネットワークドライブ (ホーム) ユーザ毎に容量制限あり。

ドライブに対応している各フォルダの中には、ファイルが格納できるほか、さらにフォルダを格納することもできます。

親フォルダの表示

フォルダには親子関係があります。あるフォルダ(A)の中に別のフォルダ(B)が存在する場合、フォルダAはフォルダBの親、という関係にあります。MS-DOSを知っている人なら、この関係は、子フォルダから親フォルダが".. "という名前で見えていたことに対応することに気が付くでしょう。

画面上にフォルダBだけが表示されている状態で、親フォルダAを画面上に表示させたい場合、一番簡単な方法は「BackSpace」キーを押すことです。もちろん、地道に「マイコンピュータ」からたどる方法もありますし、アプリケーションの中からは、一つ上のフォルダに移動するボタンがあるのが一般的です。

フォルダの内容表示

フォルダの内容は、ウィンドウの中にアイコンとして表示されますが、その表示方法を調整することができます。

- 等間隔に整列
一定間隔に再配置を行います。
- アイコンの整列
 - 名前順
 - 種類順 (.doc 等の拡張子の順に整列)
 - サイズ順 (ファイルの大きさの順)
 - 日付順 (作成/変更日時の順)
 - 自動的に整列
- アイコンの大きさ、詳細度
 - 大きいアイコン
 - 小さいアイコン
 - 一覧
 - 詳細
- 最新の情報に更新
共有フォルダ (ドライブNなど)の場合、フォルダが開かれている状態で他のパソコンからフォルダの内容を変更した場合、開かれているフォルダの内容表示にその変更がすぐ

には反映されません。他のパソコンからの変更等を画面表示に反映させたい場合は、「最新の情報に更新」の操作をします。

- その他のちょっと高度な設定変更
 - 拡張子の表示
「表示」→「オプション」で開かれる窓の設定を変更することで、画面表示の際に省略されている拡張子の部分を表示させることができます。拡張子の概念が理解できているなら、画面に表示させておいた方が扱いやすいかもしれません。
 - 隠しファイル/システムファイルの表示
システム管理のために参照されるファイルの中には、ユーザの無用な混乱を避けるためにあえてユーザに見せないようにしているファイルがいくつかあります。それらをフォルダ表示で見えるようにするかどうかを切り替えることができます。これについても「表示」→「オプション」で開かれる窓で設定を変更します。

エクスプローラ

ファイル进行操作する場合(探したり、コピー/移動したり等)は、フォルダをたくさん開くより、「エクスプローラ」を利用した方が便利な場合があります。エクスプローラを起動する方法には、次のものがあります。

- 「スタート」メニュー→「プログラム」→「WindowsNT エクスプローラ」
- フォルダを右クリックしてメニューから「エクスプローラ」を選択

エクスプローラでは、ウィンドウの左半分にはフォルダの階層構造が表示されるので、今見ているフォルダがどの位置に整理されているものであるかを把握するのも便利です。

フォルダ新規作成

自分でフォルダ単位でファイルを整理したい場合に、次のようにしてフォルダを新しく作成します。

- フォルダ新規作成
 - 何もないところでマウスを右クリック
 - 新規作成→フォルダ
 - 「新しいフォルダ」ができる
2回以上繰り返して、同じ名前のフォルダができないことを確認しよう。
- 名前の変更
 - フォルダの作成直後
名前の部分が青く反転している状態なので、キーボードからの入力で名前をつけかえることができる。
 - 一般的な方法
名前を変更したいフォルダ/ファイルを選択し(左クリック)、しばらく時間をおいてから(これ重要)、名前の部分を左クリックする。これで、名前の部分が青く反転した状態になるので、あとは前項と同じ。

名前の変更の方法は、ファイルに対しても同様です。

一般利用者が変更することができないフォルダ(主にCドライブ)では、フォルダの作成も禁止されています(できない旨のエラーが表示されます)。

フォルダとファイルのコピー/移動

ドラッグ&ドロップ操作によって、フォルダをまたいだファイルのコピーや移動を行うことが

できます。ただし、ドライブをまたがった操作であるかどうかによって動作が微妙に異なるので、注意してください。

- 同一ドライブ内でのドラッグ&ドロップ
ファイル/フォルダの移動になります。
コピーしたい場合は、マウスの右ボタンでドラッグ&ドロップし、操作後のメニューでコピーを選びます。
- ドライブをまたがるドラッグ&ドロップ
ファイル/フォルダのコピーになります。
移動したい場合は、マウスの右ボタンでドラッグ&ドロップし、操作後のメニューで移動を選びます。

これは、物理的な入れ物(ドライブ)からデータ(ファイル)が不用意に失われることを防ぐための親切(?)設計です。

ディスク消費量の確認

ディスクがどの程度消費されているか(残り容量はどれくらいあるのか)を調べるには、次の2つの方法があります。

- ドライブ単位の消費量/空き容量

「ドライブ」に対応するフォルダに対して、右クリックでメニューを開き、「プロパティ」を選びます。窓が現れ、そこに消費量/空き容量が表示されます。

- フォルダ単位の消費量

フォルダを開き、内部のファイルを「全て選択」する(編集のメニュー中にある)。続けて、「プロパティ」をみる(ファイルのメニュー中にある)。

- ファイルのサイズ

ある1つのファイルのサイズは、ファイルを右クリックして、出てきたメニューでプロパティを選択すると表示されます。

演習

- 今まで作成したり保存してきたファイルを、フォルダに整理する。(Mドライブに、フォルダを作成する。)
- パソコンのハードディスクにどのような拡張子のファイルがあるのかを調べる。
- それぞれのファイルのサイズ、ディスクの空き容量等を確認する。
テキスト形式で保存したファイルと、ワード形式で保存したファイルのサイズを比較してみよう。